

5. ヒルガオ（ヒルガオ科ヒルガオ属）

Calystegia japonica Choisy

2014年6月

道端や土手などの日の良く当たるところに、つるを伸ばし他の植物や垣根に巻き付き生育します。葉は1～4cmの葉柄があり、葉身はほこ形から矢じり形で長さ5～10cmです。6月ごろから薄いピンク色の長さ5～6cmの目立つ花を葉腋に1個付けます。ほとんど種子をつくらず、繁殖はもっぱら地下茎による栄養繁殖で広がります。そのため地下茎は非常に発達しており、いったん侵入すれば駆除が困難になります。花が美しいからといって身近に植えない方がいいのかもしれませんが。花言葉の「絆」は地下茎の状態からきているのでしょうか。アサガオに近い種類で、昼になっても花が咲いているところから名づけられました。北海道、本州、四国、九州、朝鮮、中国に分布します。

類似種にコヒルガオ（*Calystegia hederacea* Wall.）が同じような環境に生育します。葉は2～5cmの葉柄に三角状ほこ形で、側片は開出して2裂するところがヒルガオと異なります。花は長さ3cmほどで、やや小形です。また、海岸などの砂地にはハマヒルガオ（*Calystegia soldanella* (L.) Roem.et Schult.）が生育しています。茎はつる性で長く這い、時に他の植物などに巻き付きます。葉は厚く光沢があり、長さ2～4cm、幅3～5cmの腎心形です。



ヒルガオ



コヒルガオ



ハマヒルガオ



ハマヒルガオの葉